【地学】第4部 第2章 第1節 ®恒星までの距離と明るさ(p337~338)サイエンス総合(物理)04 【物理】該当なし

~星までの距離のはかりかた~

\bigcirc	恒星	のE	归.	る	7,
\mathcal{O}	坦生	ひノト	'n	ବ	ٺ

星の明るさを示す指標。等級の	数字が小さいほど明るい星。				
5等級違うと明るさの比は					
5等級違うと明るさの比は倍異なる(1等級違うごとに明るさは約2.5倍違う)。 …地球から見たときの明るさの等級					

○恒星までの距離と見かけの等級

本来同じ明るさの恒星(同等の光エネルギーを放出している恒星)でも, 距離が違うと見かけの等級が異なる ► 太陽は近くにあるから他の恒星に比べて桁違いに明るい!

○恒星までの距離の測定

恒星までの距離は、離れた2点からの視差(恒星までの視線のなす角) を測定することによって求まる。(右図のAB間の距離と視差の角度 が決まれば、三角形の大きさが確定する)

- ▶ 離れた2点の距離をできるだけ大きくとらないと正確な測定ができない。
- ▶ 人間が地球上でとれる2点間の最大の距離は

…太陽-恒星-地球を結んでできる最大の角度

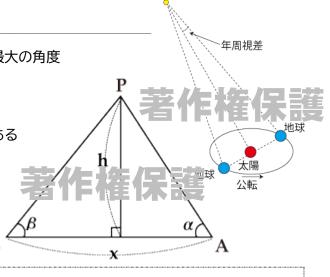
○三角測量

図の点Aと点Bが基準となる地点、点Pが測定対象である

- **①** 辺AB (基線という) の長さxをはかる。
- **②** 点Aから点Pを観測し,角 α を求める。
- **③** 点Bから点Pを観測し,角βを求める。

以上3つを測定したら,計算により「PAの長さ」

「PBの長さ」「基線から点Pの距離」が求まる!



恒星

≪三角測量の原理≫

基線と点 P との距離 h は,h =

 \rightarrow PB=

基線の長さxは、x =

よって, PA=

加法定理 $sin(\alpha+\beta)=sin\alpha cos\beta+cos\alpha sin\beta$ より、PA=

同様に, PB=

結果をhの式に代入すると,h =

○三角比の表(地 p410, 物 1 p266) の見方 通常, 90° までしか表がありません。

$$\ll (90^{\circ} + \theta)$$
 の三角比》
$$\sin(90^{\circ} + \theta) = \cos(90^{\circ} + \theta) = \tan(90^{\circ} + \theta) = \cos(90^{\circ} + \theta) = \cos(9$$

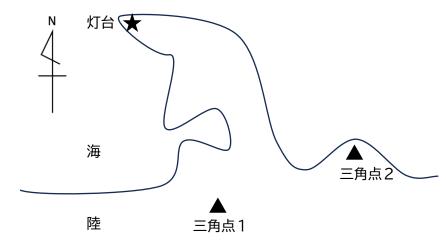
上の関係式を使えば,180°までは対応できる。

練習問題 図で、x=100m, $\alpha=46^{\circ}$ 、 $\beta=39^{\circ}$ であった。 PA の長さ、PB の長さ、h の長さを求めよ。

	7.16	dr A	7.44		7*14	A III.	7*44
角	正弦	余弦	正接	角	正弦	余弦	正接
	(sin)	(cos)	(tan)		(sin)	(cos)	(tan)
0	0.0000	1.0000	0.0000	45	0.7071	0.7071	1.0000
1	0.0175	0.9998	0.0175	46	0.7193	0.6947	1.0355
2	0.0349	0.9994	0.0		0.7314	0.6820	1.0724
3	0.0523	0.9986	0.0	1	0.7431	0.6691	1.1106
4	0.0698	0.9976	1.000		.7547	0.6561	1.1504
5	0.0872	0.9962	0.0075		7660	0.6428	1.1918
6	0.1045	0.9945	0.105	. 51		0.6293	1.2349
7	0.1219	0.9925		1 02	0.7880	0.6157	1.2799
8	0.1392	0.9903		L 53	0.7986	0.6018	1.3270
9	0.1564	0.9877	0.1504	55	0.8090	0.5878	1.3764
10	0.1736	0.9848	0. 3	55	0.8192	0.5736	1.4281
11	0.1908	0.9816	0 .4		8290	0.5592	1.4826
12	0.2079	0.9781	26	77	J.8387	0.5446	1.5399
13	0.2250	0.9744			.8480	0.5299	1.6003
14	0.2419	0.9703	95	10	0.8572	0.5150	1.6643
15	0.2588	0.9659	79		8660	0.5000	1.7321
16	0.2756	0.9613	67	11	u.8746	0.4848	1.8040
17	0.2924	0.9563	57	2	0.8829	0.4695	1.8807
18	0.3090	0.9511	10	63	0.8910	0.4540	1.9626
19	0.3256	0.9455	143		.8988	0.4384	2.0503
20	0.3420	0.9397	1 6	0 _	9063	0.4226	2.1445
21	0.3584	0.9336	39	OU	υ.9135	0.4067	2.2460
22	0.3746	0.9272	2		9205	0.3907	2.3559
23	0.3907	0.9205	1	\Box	J.9272	0.3746	2.4751
1111	0.4067	0.9135	152		J.9336	0.3584	2.6051
25	0.4226	0.9063	63		9397	0.3420	2.7475
- 6	0.4384	0.8988	0.4877	71	0.9455	0.3256	2.9042
27	0.4540	0.8910	0).9511	0.3090	3.0777
28	0.4695	0.8829	.1'	73).9563	0.2924	3.2709
29	0.4848	0.8746	54	1 1).9613	0.2756	3.4874
30	0.5000	0.8660	7		9659	0.2588	3.7321
31	0.5150	0.8572	009		0.9703	0.2419	4.0108
32	0.5299	0.8480	240	4	0.9744	0.2250	4.3315
33	0.5446	0.8387	4:	3	.9781	0.2079	4.7046
34	0.5592	0.8290	0.6745	79	0.9816	0.1908	5.1446
35	0.5736	0.8192	2	00	9848	0.1736	5.6713
36	0.5878	0.8090	0.7005	-, 8J	0.9877	0.1564	6.3138
37	0.6018	0.7986	U.753F	1 4	J.9903	0.1392	7.1154
38	0.6157	0.7880	0.7010	- 6	0.9925	0.1219	8.1443
39	0.6293	0.7771	8,		9945	0.1045	9.5144
40	0.6428	0.7660	1_1_).9962	0.0872	11.4301
41	0.6561	0.7547	16 3		9976	0.0698	14.3007
42	0.6691	0.7431	0.9004	87	J.9986	0.0523	19.0811
43	0.6820	0.7314	0.9325	88	0.9994	0.0349	28.6363
44	0.6947	0.7193	0.9657	89	0.9998	0.0175	57.2900
45	0.7071	0.7071	1.0000	90	1.0000	0.0000	

チャレンジ問題 図のような海岸線がある。図中の★は灯台、▲は三角点である。西側の三角点1に移動して測量を行ったところ、灯台は磁北から反時計回りに 25°の方角に見え、東側の三角点2は磁北から時計回りに 68°の方角に見えた。次に東側の三角点2で測量を行ったところ、灯台は磁北から反時計回りに 42°の方角に見え、西側の三角点1は磁北から反時計回りに 112°の方角に見えた。灯台と2つの三角点は同じ標高であり、2つの三角点の直線距離は 1500 m 離れていることが分かっている。

- この測量によって明らかになる,
- ① 東側の三角点2と灯台との距離
- ② 西側の三角点1と灯台との距離を求めよ。



※ 図はあくまでも参考で、文中の位置関係とは多少異なっています